

A I 戦略推進関係省庁会議（第 1 回） 議事要旨

1.日 時 令和 6 年 12 月 26 日（木）10:40～11:10

2.場 所 中央合同庁舎 8 号館 1 階講堂

3.出席者

議 長	城内 実	内閣府特命担当大臣（科学技術政策）
顧 問	平 将明	デジタル大臣
議長代行	阪田 渉	内閣官房副長官補（内政担当）
	市川恵一	内閣官房副長官補（外政担当）
	濱野幸一	内閣府科学技術・イノベーション推進事務局長
議長代理	渡邊昇治	内閣府科学技術・イノベーション推進事務局審議官 （兼 内閣官房内閣審議官）
構 成 員	股野元貞	内閣官房国家安全保障局内閣審議官
	西山英将	内閣官房内閣審議官（内閣官房副長官補付）
	木村公彦	内閣官房内閣サイバーセキュリティセンター総括副センター長
	泉 恒有	内閣府政策統括官（経済安全保障担当）
	岡田恵子	内閣府男女共同参画局長
	奈須野太	内閣府知的財産戦略推進事務局長
	徳増伸二	内閣府科学技術・イノベーション推進事務局審議官
	岩成博夫	公正取引委員会事務総局経済取引局長
	迫田裕治	警察庁警備局長
	逢阪貴士	警察庁サイバー警察局長
	堀内雄人	警察庁長官官房技術総括審議官
	佐脇紀代志	個人情報保護委員会事務局長
	柳瀬 護	金融庁総合政策局審議官
	藤本武士	消費者庁政策立案総括審議官
	楠 正憲	デジタル庁デジタル社会共通機能グループ統括官
	布施田英生	デジタル庁省庁業務サービスグループ統括官
	玉田康人	総務省大臣官房総括審議官（情報通信担当）
	竹村晃一	総務省国際戦略局長
	中村功一	法務省大臣官房サイバーセキュリティ・情報化審議官
	斉田幸雄	外務省総合外交政策局参事官 ※代理出席
	片平 聡	外務省経済局長
	福井俊英	文部科学省大臣官房政策課長 ※代理出席
	内山博之	厚生労働省大臣官房医薬産業振興・医療情報審議官
	堺田輝也	農林水産省大臣官房技術総括審議官
	伊藤優志	農林水産省大臣官房サイバーセキュリティ・情報化審議官
	奥家敏和	経済産業省商務情報政策局審議官 ※代理出席
	中崎 剛	国土交通省大臣官房技術総括審議官
	山下雄史	国土交通省大臣官房サイバーセキュリティ・情報化審議官 ※代理出席
	家護谷昌徳	防衛省大臣官房サイバーセキュリティ・情報化審議官
	木村和仙	防衛装備庁技術戦略部革新技術戦略官 ※代理出席

4.議題

- (1) 「AI戦略推進関係省庁会議」の開催について
- (2) AI制度に関する検討状況について

5.公開資料

- 資料1 AI戦略推進関係省庁会議の開催について(案)
- 資料2 AI戦略会議・AI制度研究会 中間とりまとめ(案)

6.議事要旨

冒頭、城内実内閣府特命担当大臣(科学技術政策)(議長)から、開会挨拶も兼ねて、AI戦略会議・AI制度研究会の中間とりまとめ(案)を公表したこと、パブリックコメントを行うこと、城内大臣が中心となって法案検討を速やかに進めるよう石破総理から指示があったこと等について発言があった。続いて、平将明デジタル大臣(顧問)から、政府のAI活用への取り組み等の発言があった。その後、以下について事務局からの説明及び意見交換が行われた。

(1) 「AI戦略推進関係省庁会議」の開催について

関係省庁の申合せにより、AI戦略推進関係省庁会議の開催が了承された。また、議長により同幹事会の構成員が指名された。

(2) AI制度に関する検討状況について

構成員による意見交換がなされた。特に、広島AIプロセス等の国際的な議論に引き続き日本が積極的に取り組むこと、その結果を国内でも活かすこと、日本の取り組みを世界に発信すること等について発言があった。また、中間とりまとめ(案)に沿って法案検討を急ぐとの説明が事務局からあった。

最後に、城内実内閣府特命担当大臣(科学技術政策)(議長)から、AI政策に関してPDCA(Plan, Do, Check, Action)サイクルをしっかりと回していくことが重要で、PDCAの各段階において、内閣府もリーダーシップを発揮するが関係省庁の協力が必要であるとの意見があり、関係省庁による積極的な協力を依頼し、閉会した。

以上